

ワイヤレスLAN PCカード (2.4 GHz/5 GHz IEEE 802.11a/b/g)

簡単設定ガイド

本書をご覧になる前に「はじめにお読みください」(別紙)を必ずお読みください。

本書では、ワイヤレスLAN PCカード PCWA-C800Sをお使いになるために必要なソフトウェアのインストールや、アクセスポイントへの接続設定について説明しています。

VAIO CarrierGate

PCWA-C800S

© 2003 Sony Corporation Printed in Japan

はじめに

ワイヤレスLAN PCカード PCWA-C800Sは、IEEE 802.11a、IEEE 802.11b、IEEE 802.11gに対応したPCカード型の無線ネットワークカードです。本製品を使用して、無線ネットワークを利用できます。

本書では、ワイヤレスLAN PCカード PCWA-C800Sを使用するために必要なワイヤレスLAN PCカードドライバとユーティリティソフトウェアWireless Panelをインストールし、アクセスポイントに接続する手順について説明します。

1 付属のソフトウェアをインストールする



2 アクセスポイントへの接続設定を行う(裏面)

お使いのOSによって、設定方法が異なります。お使いのOSの項をご覧ください。

- Adobe® およびAdobe® Acrobat® ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- VAIO、VAIO およびCarrierGate は、ソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書では、Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000、Microsoft® Windows® XP Home EditionおよびMicrosoft® Windows® XP ProfessionalをWindows XPと記載しています。

1 付属のソフトウェアをインストールする

付属のCD-ROMを使って、ドライバとユーティリティをインストールします。ワイヤレスLAN PCカードは、ドライバをインストールするときに取り付けます。

ソフトウェアをインストールする

ここでは、付属のCD-ROMを使って、ウィザード形式でソフトウェアをインストールする手順について説明します。

インストールの前に、あらかじめ以下の準備をしておいてください。

- ソフトウェアのインストールや設定は、ウィザード形式で行いますので、あらかじめコンピュータのディスクドライブを使えるようにしておいてください。
- アクセスポイントネットワークモードでお使いになるときは、あらかじめアクセスポイントを設置し、アクセスポイントが使えるようにしておいてください。アクセスポイントの設置や設定については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 付属のソフトウェアをWindows 2000のコンピュータにインストールするときはAdministratorsグループ(管理者権限を持つユーザー)のユーザーアカウントで、Windows XPのコンピュータにインストールするときは「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントでWindowsにログオンしてください。これ以外のユーザーとしてログオンするとインストールを行えません。
- Windows 2000のコンピュータで、Wireless Panelを使って設定を行うときは、Administratorsグループ(管理者権限を持つユーザー)のユーザーアカウントでWindowsにログオンしてください。これ以外のユーザーとしてログオンすると設定を行えません。
- インストールの前に、起動中のプログラムをすべて終了してください。

ご注意

コンピュータのファイアウォール機能について

Windows XPの「インターネット接続ファイアウォール」機能をお使いの場合 Windows XPの「インターネット接続ファイアウォール」機能が有効になっていると、そのコンピュータは外部からはアクセスできない状態になります(Windows XPの初期設定では無効になっています)。そのため、アクセスポイントの設定を変更するときなどに、ネットワーク接続ができないなどの問題が発生することがあります。このような場合には、いったん「インターネット接続ファイアウォール」を無効にしてからネットワークに接続し、接続後に設定を有効に戻してください。詳しい操作については、Windows XPのオンラインヘルプをご覧ください。

ご注意

「インターネット接続ファイアウォール」機能を無効にしている間は、セキュリティに充分ご注意ください。ウイルススキャンソフトウェアやネットワークセキュリティソフトウェアのパーソナルファイアウォール機能をお使いの場合

ウイルススキャンソフトやネットワークセキュリティソフトには、外部からの不正なアクセスを防ぐ「パーソナルファイアウォール」と呼ばれる機能を持つものがあります。ソフトウェアによっては初期状態でこの機能のセキュリティレベルが高く設定されている場合があり、そのままお使いになると、そのコンピュータは外部からアクセス不可能な状態になります。そのため、アクセスポイントの設定を変更するときなどに、ネットワーク接続ができないなどの問題が発生することがあります。このような場合には、セキュリティレベルを下げることでネットワーク接続ができるようになります。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書またはオンラインヘルプをご覧ください。

ご注意

- セキュリティには充分ご注意ください。
- 本件に関するの弊社へのお問い合わせはご遠慮ください。

- アクセスポイントネットワークモードでお使いになるときは、アクセスポイントの電源を入れる。



ヒント


アクセスポイントネットワークモードとは、別売りのアクセスポイントを中心にネットワークを構成するモードです。なお、アクセスポイントを介せずに無線ネットワークを構成するモードをピアトゥピアネットワークモードといいます。

- 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。

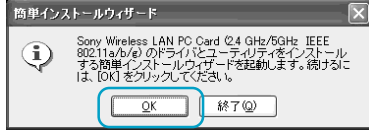
自動的に簡単インストールウィザードが起動します。



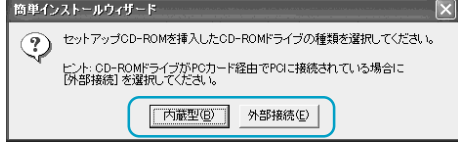
ヒント

CD-ROMをセットした後、しばらく待っても簡単インストールウィザードが起動しない場合は、CD-ROM内の [Setup.exe] をダブルクリックしてください。コンピュータの設定によっては、[Setup.exe] は[Setup]と表示されます。

- 次のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。



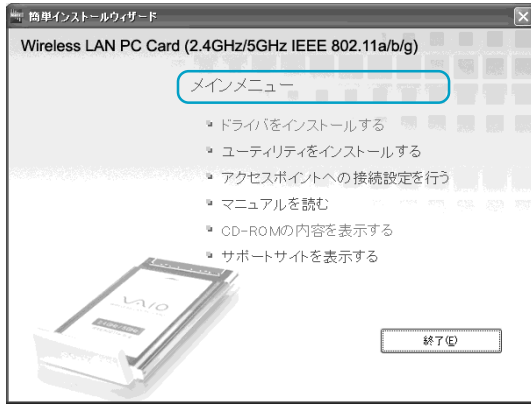
- お使いのCD-ROMドライブの種類をクリックする。



PCカードスロットが1台しかないコンピュータで、PCカード経由でCD-ROMをお使いの場合は、[外部接続]を選択してから、画面に表示される指示に従って、CD-ROMの内容をコンピュータのハードディスクにコピーします。コピーが終わったら、[メインメニュー]をクリックしてください。

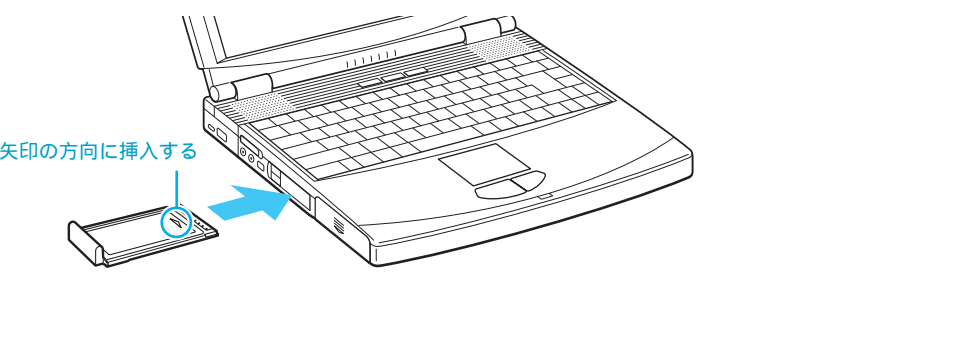
しばらくすると、簡単インストールウィザードのメインメニューが表示されます。

- [ドライバをインストールする]をクリックする。



- 画面に表示される指示に従って下図のように、ワイヤレスLAN PCカードをコンピュータに取り付ける。

ワイヤレスLAN PCカードを取り付けるときは、コンピュータの電源を切る必要はありません。



ご注意

- 上下に2つのPCカードスロットがあるコンピュータをお使いの場合は、上側のスロットに取り付けることをお勧めします。下側のスロットに取り付けると、アンテナの突起により上側スロットへの他のPCカードの着脱ができなくなります。
- PCカードスロットの奥行きやスロット上部の形状によっては、ワイヤレスLAN PCカードを装着できない場合があります。

スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。うまく入らない場合は無理に押し込まずに、カードをいったん取り出し、挿入方向などを確認してから、もう1度挿入してください。

ワイヤレスLAN PCカードを取り付けると、ドライバが自動的にインストールされます。インストールが終了するまで、そのままお待ちください。

- インストール終了の画面が表示されたら、[続ける]をクリックする。



続いてユーティリティをインストールします。

- [ユーティリティのインストール]をクリックする。




- 以降、画面に表示される指示に従ってインストールを行う。

ユーティリティのインストールが終了すると、次の画面が表示されます。




以上でソフトウェアのインストールが完了しました。

Wireless Panelが自動的に起動し、コンピュータのタスクトレイ(Windows XPをお使いの場合は「通知領域」)に受信レベルインジケータ (電波の受信状態や接続状態に応じて表示が異なります)が表示されます。

このあとは・・・


アクセスポイントに接続するための設定を行います。

Windows 2000をお使いの場合は、続けてこの画面から接続設定を行います。裏面にお進みください。

Windows XPをお使いの場合は、 をクリックして簡単インストールウィザードを閉じてから、裏面にお進みください。

ワイヤレスLAN PCカードを取りはずすには

- 無線LAN経由のネットワークにアクセスしているソフトウェア(例えばエクスプローラなど)を終了する。

- コンピュータのタスクトレイ(Windows XPをお使いの場合は「通知領域」)にある (ハードウェアの取り外しまたはハードウェアの安全な取り外し)をクリックする。

- 「Sony 802.11a/b/g Wireless LAN Adapterを停止します」をクリックする。

複数のPCカードスロットを搭載するコンピュータをお使いの場合

それまで取り付けたことのないスロットにワイヤレスLAN PCカードを取り付けると新しいデバイスとして認識され、自動的にドライバのインストールが開始されます。画面に表示される指示に従ってインストールを完了させると、そのスロットでもワイヤレスLAN PCカードが使用可能になります。



ヒント

Windows 2000をお使いの場合は、スロットごとに最大32個のネットワークを登録することができます。ただし、複数のスロットで同じ設定を共有することはできませんので、登録するネットワークごとに個別に設定を行ってください。

2 アクセスポイントへの接続設定を行う

ソフトウェアをインストールしたら、アクセスポイントに接続するための設定を行います。お使いのOSによって、設定方法が異なります。お使いのOSの項をご覧ください。

ピアトゥピアネットワークモードを使用する場合の設定方法については、Wireless Panelのオンラインヘルプをご覧ください。

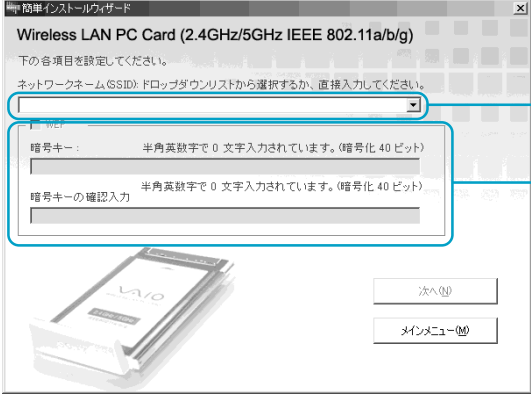
Windows 2000の場合

1 [アクセスポイントに接続]をクリックする。



次の画面が表示されます。

2 各項目を設定する。



① ネットワークネーム (SSID)

ネットワークに固有のIDです。既存のネットワークに接続する場合は、設定値をネットワーク管理者にお問い合わせください。ネットワークネームを変更する場合は、半角英数字 (記号も使用可) で最大32文字の任意のなまえを入力できます。

💡 ヒント

- [ネットワークネーム] のドロップダウンリストを開くと、通信圏内にあるアクセスポイントのネットワークネームがリストに表示されます。ここからアクセスポイントを選択することもできます。
- アクセスポイントの工場出荷時のネットワークネームは、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

② WEP

接続するアクセスポイントの設定に応じて、通信データが暗号化されている場合にチェックします。ここをチェックしたら、次の[暗号キー]を入力してください。WEP (データの暗号化) は、通信データを暗号化して外部からの不正なアクセスを防ぐ機能です。セキュリティの観点からデータの暗号化を有効にすることを強くお勧めします。データの暗号化はアクセスポイントやピアトゥピアネットワークごとに設定できますので、既存のネットワークに接続する場合は、設定値をネットワーク管理者にお問い合わせください。データの暗号化などアクセスポイントの各設定は、お使いのアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

暗号キー

アクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号キーを過不足なく入力します。暗号キーは、データの暗号化が有効になっているネットワークで通信を行うためのパスワードです。この暗号キーが正しく設定されているコンピュータだけが通信を行うことができます。

暗号キーの必要文字数は、[キーの形式] および[キーの長さ] により異なります。(下表参照)

	ASCII形式で入力する場合	16進数で入力する場合
使用できる文字	半角英数記号	0～9、A～F、a～f
入力文字数	5文字または13文字	10文字または26文字

暗号キーの確認入力

同じ暗号キーをもう一度入力します。

💡 ヒント

ワイヤレスLAN PCカードとアクセスポイントは、複数のアクセスポイントを使ってより広範囲なネットワークを作る「ローミング」と言われる機能に対応しています。ローミングを行う場合は、使用するすべてのアクセスポイントに同じネットワークネームを設定し、データの暗号化の各項目の設定を同じにします。

3 各項目を設定したら、[次へ] をクリックする。

画面に設定内容が表示されます。

4 設定内容が正しいか確認し、[接続] をクリックする。



アクセスポイントに接続するまで、そのままお待ちください。アクセスポイントに接続すると、次の画面が表示されます。



以上で、アクセスポイントに接続するための設定は完了です。

💡 ヒント

接続設定やネットワークモードは、Wireless Panelで変更できます。

Windows XPの場合

ご注意

ワイヤレスLAN PCカードの設定を行う前に・・・

以下の手順で[Windowsを使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する] が選択されているか確認してください。Windows XPの初期設定では、このオプションが選択されています。

- [スタート] メニューから[コントロール パネル] を選択し、[ネットワーク接続] をダブルクリックする。
- 💡 ヒント
[ネットワーク接続] が表示されないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。
- [ワイヤレス ネットワーク接続 *] (「 * 」には数字が入ります。この数字はコンピュータの設定状態によって変わります) を右クリックし、ショートカットメニューから[プロパティ] を選択する。
- [ワイヤレス ネットワーク] タブをクリックする。
- [Windowsを使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する] が選択されているか確認する。

1 [スタート] ボタンをクリックして[接続] にポインタを合わせ、[すべての接続の表示] をクリックする。

「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

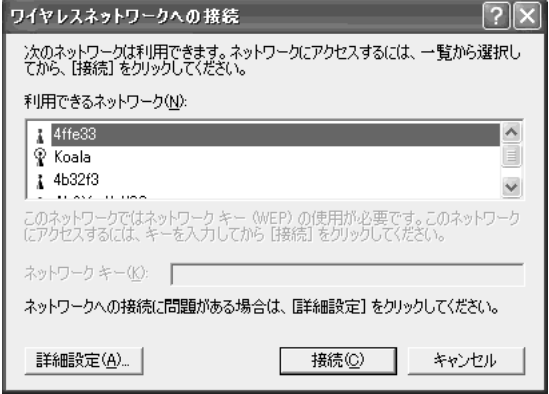
2 [ワイヤレス ネットワーク接続 *] (「 * 」には数字が入ります。この数字はコンピュータの設定状態によって変わります) を右クリックし、ショートカットメニューから[利用できるワイヤレス ネットワークの表示] を選択する。

「ワイヤレスネットワークへの接続」ダイアログボックスが表示されます。

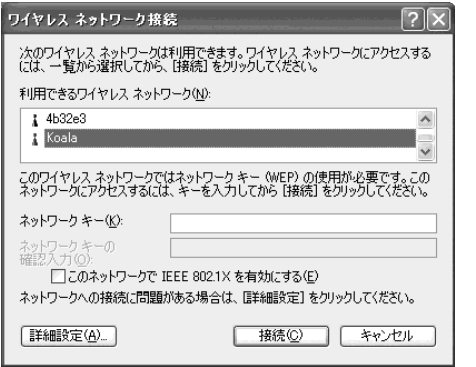
💡 ヒント

- コンピュータがワイヤレスネットワークに接続していない場合は、「ネットワーク接続」ウィンドウの[ワイヤレス ネットワーク接続 *] アイコンに×印が表示されます。

3 「ワイヤレスネットワークへの接続」ダイアログボックスの[利用できるネットワーク] (Windows XP Service Pack 1をお使いの場合は[利用できるワイヤレスネットワーク]) のリストから、接続したいアクセスポイントをクリックする。



Windows XP Service Pack 1の場合



💡 ヒント

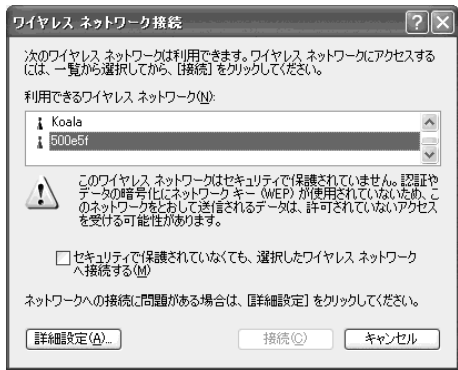
[利用できるネットワーク] のリストには、通信圏内にあるアクセスポイントのネットワーク名が一覧で表示されます。工場出荷時のアクセスポイントのネットワーク名は、お使いのアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。なお、アクセスポイントのネットワーク名は変更されている場合がありますので、既存のアクセスポイントに接続する場合は、ネットワーク管理者にネットワーク名をお問い合わせください。

4 アクセスポイントのデータの暗号化 (WEP) の設定に合わせて、以下のように設定する。

- 選択したアクセスポイントのデータの暗号化の設定が有効のとき
[ネットワークキー] の入力欄に暗号キー (WEPキー) を入力します。Windows XP Service Pack 1をお使いの場合は、確認のため[ネットワークキーの確認入力] に同じ暗号キーをもう一度入力します。暗号キーは、必要文字数を過不足なく入力してください。必要な文字数と入力できる文字は、以下のとおりです。

	ASCII形式で入力する場合	16進数で入力する場合
使用できる文字	半角英数記号	0～9、A～F、a～f
入力文字数	5文字または13文字	10文字または26文字

- 選択したアクセスポイントにデータの暗号化が設定されていないとき
Windows XPにService Pack 1がインストールされていない場合は、手順5に進みます。
- Windows XP Service Pack 1をお使いの場合は、[セキュリティで保護されていない ても選択したワイヤレスネットワークへ接続する] をチェックします。(セキュリティのため、データの暗号化を設定することをお勧めします。)



💡 ヒント

- ASCII形式か16進数かは自動的に判別されます。
- データの暗号化は、通信データを暗号化して外部からの不正なアクセスを防ぐ機能です。データの暗号化が有効になっている場合には、暗号キー (WEPキー) が正しく設定されているコンピュータだけが通信を行うことができます。セキュリティの観点からデータの暗号化を有効にすることを強くお勧めします。データの暗号化はアクセスポイントやピアトゥピアネットワークごとに設定できますので、既存のアクセスポイントに接続する場合は、各設定値をネットワーク管理者にお問い合わせください。データの暗号化などアクセスポイントの各設定については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

5 [接続] をクリックする。

アクセスポイントとの通信が確立されます。

アクセスポイントの設定が終了している場合は、以上で設定は完了です。

アクセスポイントの設定を変更する場合は、お使いのアクセスポイントの取扱説明書に従って、必要な設定を行ってください。

ご注意

アクセスポイント経由でインターネットへの接続を行う場合は、アクセスポイントの工場出荷時の設定を変更する必要があります。

💡 ヒント

Windows XPのワイヤレスネットワーク機能について、さらに詳しくは知りたい場合は、Windows XPの「ヘルプとサポート」([スタート] メニューから[ヘルプとサポート] を選択すると表示されます。「ヘルプとサポート」が表示されたら、[検索] 欄に「ワイヤレス」と入力して緑の矢印アイコンをクリックしてください) またはWindows XPに付属の説明書をご覧ください。

Wireless Panelを使う

Wireless Panelは、無線LANに接続するコンピュータの通信状態の表示を行うソフトウェアです。通常はバックグラウンドで動作し、タスクトレイ (Windows XPをお使いの場合は「通知領域」) に電波の状態を示すアイコン (受信レベルインジケータ) を表示しています。このアイコンをダブルクリックするとWireless Panelのメイン画面が表示されます。Wireless Panelのメイン画面では、さらに詳しいステータスを確認することができます。なお、Windows 2000をお使いの場合には、コンピュータの通信設定や接続するネットワークの切り替えもWireless Panelを使って行います。

ご注意

- Wireless PanelでWindows 2000のコンピュータの通信設定を行うときは、Administratorsグループ (管理者権限を持つユーザー) のユーザーアカウントでWindowsにログオンしてください。これ以外のユーザーとしてログオンすると設定を行うことはできません。
- Windows XPのコンピュータで、コンピュータの通信設定や接続するネットワークの切り替えを行うときは、Wireless PanelではなくWindows XPの機能を使用します。Wireless Panelでは、通信状態の確認を行うことができます。

受信レベルインジケータについて

受信レベルインジケータは、電波の受信状態によって表示が変化します。



受信レベルインジケータの表示の意味

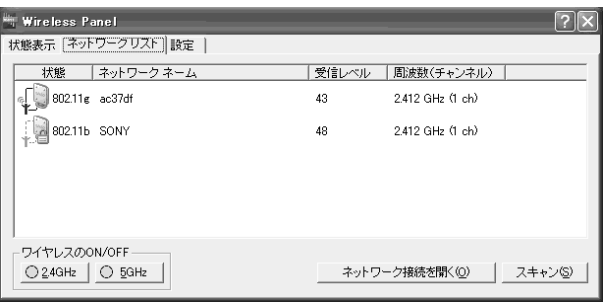
	非常に強い
	普通
	弱い
	通信圏外、未接続
	カード非装着 (ワイヤレスLAN PCカードが取り付けられていない、もしくは正しく認識されていないか無効にされている)
	ピアトゥピア (ピアトゥピアネットワークモードで通信中)

Wireless Panelのメイン画面を表示する

Wireless Panelのメイン画面は、以下の方法で表示することができます。

タスクトレイ (Windows XPをお使いの場合は「通知領域」) の受信レベルインジケータをダブルクリックする。

Wireless Panelのメイン画面が表示されます。



💡 ヒント

- Wireless Panelの画面各部にマウスポインタを合わせると、簡単な説明が表示されます。
- Wireless Panelの使いかたについては、Wireless Panelのオンラインヘルプをご覧ください。